

岡山JC

わがLOMのシニアクラブ

# 会う時は、いつも兄弟。



野津喬岡山JC新昭和会代表世話人(85年日本JC会頭)(左)  
運當幹事の若林昭吾(右)。中央は、もちろん米谷啓和会頭

岡山JCのシニアクラブには、他のどこの青年会議所にもない特色がある。驚いてはいけない。なんと！明治生まれの会員がいるのだ。明治44年生まれでチャーターメンバーの宮原義久さんは、ありがたいことにまだまだ大変お元気で、岡山JCにとっては人間国宝級の存在となっている。

そもそも岡山JCは昭和26年2月6日に誕生した。それも日本青年会議所が創立される3日前のことだ。定年(エイジリミット)は40歳。しかし、その頃のおおかつたので、日本JC設立の際、年齢制限を35歳と定めようということになった。しかし、これに岡山JCが猛然と抵抗した。無理もない。なぜなら、岡山JCには35歳をとくに過ぎた会員が大勢いたのだ。そこで、特例を認められて40歳定年のまま、認承番号9、中四国では最初のJCとして日本JCの仲間入りをした。岡山JCにウルさ方が多かったのが功を奏したのか、その後、日本JCの年齢制限は40歳に落ちついたのである。

実は、JCソングの作詞も作曲も岡山JCのOBの手によるもので、これも私たちの誇りだ。正直な気持ち、今もこの歌を大切に歌い継いでくださっている全国の皆さんには、とても感謝している。

また、千玄室会頭時代にこれまで英文字で「JC」だった会員バッジを現在の形のバッジにするよう提案したのも岡山JCのOBだったと聞いている。

「認承番号9は、伊達じゃあサインよ」と私はいつも自慢している。

岡山JCのシニアクラブは「大正会」「昭和会」「新昭和会」「昭参会」と、世代ごとに4つの会に分かれている。そしてさらにそれが干支ごとに会をもっていて、毎月集まっているところも結構ある。

岡山のような地方都市では、財界は言うに及ばず、至るところで岡山JCのOBたちが活躍している。JC同士がしょっちゅう顔をあわせる。しかもどこで会っても、いつも兄弟みたいな気持ちになれるから不思議だ。これもJCの大きな魅力の一つといえよう。

恐ろしいことに、今やOBたちの数たるや、現役の6倍以上にも及ぶ。現役会員たちは、やたら張り切っているOBたちのおもりに大変だ。

まあ、仕方あるまい。元気があまって、とんでもない方向へ飛んでいってしまうのを、JCでもゴルフでも、「OB」と呼ぶのだから。

◎日本JCシニア・クラブ世話人  
岡山ブロック JCOB会幹事長 若林昭吾



93年 岡山全国会員大会(岡田伸浩会頭)